

インキだけ じゃない！

DICは、今や印刷分野だけでなく、電子デバイスで色彩の表現や情報の伝達を行い、色彩価値を追求する企業に変貌してまいりました。

DICは、自動車、情報、住宅、食品、その他生活関連の分野にも様々な製品を提供しています。

Color & Comfort by Chemistry

DIC株式会社

ディーアイシー

(旧 大日本インキ化学工業株式会社)

<http://www.dic.co.jp/>

サプライチェーンで供給確保

東日本大震災で国内の印刷インクのサプライチェーンは大きな影響を受けた。工場の生産停止により原料が逼迫している状況だが、サプライチェーンが一丸となつて原料調達に力を注ぐ。またアジアを中心とした海外拠点の増強も進め、各国への輸出を強化する。

印刷インク

インク全般に必要な色を決める顔料ではD.I.Cの鹿島工場（茨城県神栖市）が生産を停止中。同社では生産再開を急ぐとともに、海外子会社や国内の同業他社からの調達も検討している。今月15日から一部の生産現場で稼働を再開し、全現場の復旧は5月末を見込む。

東北地域の工場が被災したインク原料樹脂メーカーの荒川化学工業も復旧作業を進めるとともに、海外子会社からの樹脂の供給を検討する。

インク各社は原料の確保を急いでいる。サカタインクは新聞用インクについて海外からの原料調達や代替素材の採用で、しばらく生産・供給を続けるめどをつけた。インクは生活に欠

印刷物のサプライチェーン

かせない製品だけに、サプライチェーン各社で供給維持に取り組む。今後の成長の柱とするアジアなどを中心とした海外で、各社は生産能力

アジアを中心に海外拠点を増強

国では食品包装印刷分野で法規制に対応したインクは2011年1月期からの3年間で、国やインド、東南アジアなどのアジア各国でインクの生産拠点を相次ぎ強する計画。今後は増した生産拠点から周辺への輸出を拡大し、拡大する。

デインクスは昨年販社設立したブフジルや、インド・グジャラートで印刷インクの新工場の建設を進めている。東洋インキSCホールドインクスは世界最低コストでの生産を目指し、マザーブント化を推進。このほどに中国・南通市に次ぐ拠点目のマザーワーク場を成させた。チリやロシアでも印刷インクの新工場の建設を進めている。

知恵をビジネスにする技術・情報企業

ナガセは、国内外100社を数えるグループ各社と各拠点を軸に、
「トレーディング機能」「マーケティング機能」「研究開発機能」「製造・加工機能」の4つを融合し、
開発・製造から販売までを一貫して手がけ、総合的かつエコロジカルなソリューションを生み出します。
化学の力で暮らしを豊かにするナガセ。これからもお客様のニーズに高いレベルでお応えし続けます。

トレーディング機能

マーケティング機能

研究開発機能

製造・加工機能

NAGASE

長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

東京本社 〒103-8355 東京都中央区日本橋小舟町5-1 TEL.03-3665-3021(代)

大阪本社 〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17 TEL.06-6535-2114(代)

名古屋支店 〒460-8560 名古屋市中区丸の内3-14-18 TEL.052-963-5615(代)